

豊かな能美暮らしを未来へつなごう！



ES! ES! ESディージーズ SDGs

問 / 市長戦略課 SDGs 推進室 (☎ 58-2220 ☎ 58-2291)

SDGsってなんだろう？

SDGs (Sustainable (サステナブル) Development (デベロップメント) Goals (ゴールズ))は日本語で持続可能な開発目標と訳され、2030年までに持続可能でより良い社会を目指す国際目標のことです。経済・環境・社会の課題を解決するための17のゴール・169のターゲットから構成され、『誰一人取り残さない』ことを誓っています。



飢餓をゼロに？
どんなことができるのだ？



私たちの心がけが
ゴールにつながるよ。

目標2 飢餓をゼロに

2 飢餓を
ゼロに



『飢えをなくし、だれもが栄養のある食糧を十分に手にいれられるよう、地球の環境を守り続けながら農業を進めよう』

目標2には、8のターゲットがあります。例えば、ターゲット2-4には、『2030年までに、食料の生産性と生産量を増やし、同時に、生態系を守り、気候変動や干ばつ、洪水などの災害にも強く、土壌を豊かにしていくような、持続可能な食料生産の仕組みをつくり、何か起きてもすぐに回復できるような農業を行う。』となっています。

公益財団法人日本 unicef 協会ホームページより

地産地消で農業を未来へつなごう！

地元で採れた旬の農産物は、新鮮で栄養価も高く、身体にも良いです。地域で採れた農産物をその地域で消費する「地産地消」は、健康につながるだけでなく、農家の安定した収入にもつながります。

保育園や小学校等で行われている農作業体験は、「食育」として取り組まれています。普段できない栽培行程に関わることや農家の思いを知ること、生産されている農産物への愛着が増すとともに、地域農業の素晴らしさを知ることができるとも良い機会です。地産地消の意識も高まります。

能美市内の農家数は近年減少してきていますが、食育を通して地元農産物の価値を感じ、地産地消が推進されることで、農業の持続性が高まります。地産地消で能美市の農業を応援しましょう。



中庄町丸いも倶楽会の本忠儀さんとつる巻き体験をする園児たち

NEWS 福岡保育園の園児が加賀丸いものつる巻きを体験

7月1日、福岡保育園の年長組35人が中庄町の畑で加賀丸いものつる巻き体験をしました。

この体験は、能美市の特産物である加賀丸いもの栽培や普及に取り組んでいる「中庄町丸いも倶楽会」が食育をテーマに毎年行っています。最初につるの巻き方の指導を受けた園児たちは、長く成長したつるを、支柱に張られたビニール紐へ丁寧に巻き付けていきました。秋には、収穫体験も予定しており、農産物収穫の喜びや美味しさを感じる貴重な機会となります。